

- ・教室をめぐる動き (1)
- ・1997年度地理学教室行事予定 (1)
- ・教員の研究活動 (2)
- ・1997年度教員在室時間割について (3)
- ・製本保存ふん卒業論文主題(1996年度)一覧 (5)
- ・地理情報処理室および図書資料室の利用について (5)

## 教室をめぐる動き

この4月に次の人事発令がありました。

### <退任:専任>

竹村 英一先生

### <退任:非常勤>

長谷川裕彦先生

水野 一晴先生

### <新任:専任>

岡島 建先生

地理調査法,都市地理学,課題研究I・II,地理実習I・II,  
地理実習Ⅲ,地理学(総合),日本事情(総合),科学技術と社会(総合)

### <新任:非常勤>

市川 清士先生

空中写真判読,地理データ分析入門,地理と人間生活(体育)

高野 繁昭先生

環境アセスメント,自然地理概説(教職)

竹村 英一先生

生物(総合)

今年度の学年担任は以下の通りです。

1年 岡島 建	3年 内田 順文
2年 長谷川 均	4年 瀬戸 玲子
教室主任 野口 泰生	
学部長 長島 弘道	

## 1997年度地理学教室行事予定

5月22・23日 1年地理実習	12月10日 卒論提出締め切り
5月31日 国士館地理学会	12月13日 国士館地理学会
9月30日・10月1日 2年地理実習	2月10・12・13日 卒論口頭試験
10月21・24日 3年地理巡検	3月27・29日 日本地理学会春季学術大会

## 教員の研究活動

長島 弘道 教授

### <研究活動>

著書：

中山間地域における耕作放棄地の拡大と農地管理。

石井素介・長岡顕・原田敏治編著『国土利用の変容と地域社会』大明堂, pp.166-180 (分担執筆), 1996.

学会発表：

Supply systems of organic fertilizer in rural Japan. IGUハーグ会議, 1996年8月.

ハーグのIGUに参加して。

日本地理学会農業地理作業グループ, 日本地理学会秋季学術大会, 岐阜大学, 1996年10月.

その他：

Conservation of Soil Fertility in Japan. Eds. H. Sasaki, I. Saito, A. Tabayashi, T. Morimoto,

"Geographical Perspectives on Sustainable Rural Systems", pp.210-215, Kaisei Publications, 1996.

Supply Systems of Organic Fertilizer in Rural Japan, Ed. I. R. Bowler,

Research on the Sustainability of Rural Systems, pp.51-52, Leister University(UK), 1996.

瀬戸 玲子 教授

### <研究活動>

論文：

東京西部の土地利用の変化—昭和35年(1960)～平成2年(1990)の国土館大学世田谷、鶴川校地周辺地域について—。国土館大学文学部創設30周年記念論集, 183-202, 平成8.

台地の灌漑用水路と1965年～1990年の農業土地利用の変化—山梨県徳島堰、群馬県大正用水・群馬用水、栃木県那須用水地域について—。国土館大学文学部人文学会紀要29, 17-36, 平成8.

紹介：

スペインの高等教育におけるGISおよびデジタルカルトグラフィ。地図35-1, 1997.

編集委員：

北上川農業水利誌、(社)農業土木学会、p.531, 平成8年3月.

委員会活動：

1992年4月～ 日本地理学会、国立地図学博物館設立推進委員会委員

1994年9月～ 日本学術会議、地図学研究連絡委員会委員

### <その他>

表彰：

1997年度日本地理学会春季大会総会(平成9年3月29日)で永年会員功労賞を29名を代表して、壇上で他の一人と共に会長より賞状を受けた。

野口 泰生 教授

### <研究活動>

学会発表：

東北地方太平洋岸の気温と海面水温の挙動について。日本地理学会春季学術大会(東京都立大), 1997年3月.

長谷川 均 助教授

### <研究活動>

執筆活動：

文学部地理学専攻生に対するリモートセンシング教育。国土館大学情報科学センター紀要17, 36-49.

文学部地理学専攻生に対するリモートセンシング教育と解析ソフトウェアの開発。

日本リモートセンシング学会第20回学術講演会論文集1996/5, 103-106。(株)沢瀉電子の共著)

『第四紀露頭集』日本第四紀学会,1996。(執筆分担「白保の現世のサンゴ礁」321頁)

『南の島々』中村和郎ほか編,岩波書店,1996.

(執筆分担「リモートセンシングでみたサンゴ礁」1,2,180-181頁)

「サンゴ礁保護研究センター」WWF12.vol126 No.235,1996。(執筆分担「調査研究」,1-6頁)

学会発表:

長谷川均、(株)沢瀉電子「文学部地理学専攻生に対するリモートセンシング教育と解析ソフトウェアの開発」.  
日本リモートセンシング学会1996/5/10,電気通信大学.

Hitoshi Hasegawa Application of On-the-spot Spectral Reflectance for the Interpretation of Coral Reef Environments. 8th International coral reef symposium, June 24-29,1996, Panama City, Panama.

Shigekazu Mezaki & Hitoshi Hasegawa Conservation and management of Shiraho Reef, the best lagoon in Japan. International coral reef Initiative, The Second Regional Workshop for the East Asian Seas, Okinawa, Japan, 16-20 February,1997.

### 内田 順文 助教授

#### <研究活動>

論文:

宮崎駿『風の谷のナウシカ』にみる「自然-人間」観と現代人の地球環境観について.

国土館大学地理学報告5,1-15.

### 岡島 建 講師

#### <研究活動>

学会活動:

1994年6月～ 歴史地理学会運営委員

1995年5月～ 交通史研究会常任委員

## 1997年度 教員在室時間割について

※第3または第2金曜日は教室会議(12:00-)・教授会(13:00-)があり全員が世田谷に出校しています。

※長谷川より:原則として、月・土以外は世田谷研究室におりますが、相談など時間のかかる面接等に関しては、事前にアポをとってからにしてください。

※下記時間以外の面会、相談などはAppointmentによります。相談、質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。教員の自宅、特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。

#### 教員の研究室と電話番号

長島:学部長室(2F) 03-5481-3230、1025研究室(4F) 03-5481-5278

瀬戸:1002研究室(2F) 03-5481-3245

野口:1004研究室(2F) 03-5481-3246

長谷川:1003研究室(2F) 03-5481-5247

内田:1025研究室(4F) 03-5481-5291

岡島:[世田谷]10号館2F教員コミュニティルーム

[鶴川]11号館2F合同研究室 0427-36-2335

# 1997年度 教員在室時間割 (保存版)

【凡例】 Na: 長島 Se: 瀬戸 No: 野口 Ha: 長谷川 Uc: 内田 Ok: 岡島

===== : 講義中、 ~~~~~~ : 在室、 - - - - - : 在室していることが多い  
前: 前期のみ 後: 後期のみ

	校舎	9:00-10:30	10:40-12:10	昼休	12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40	放下
月	世谷		No - - - - -					
	鶴川	Se =====	Ha ~~~~~~			Ok 前 - - - - -	後 =====	
火	世谷		Na =====				後 =====	
	鶴川	Uc =====	Ok =====		Ok前 - - - - -			
水	世谷	Se =====	Na ~~~~~~					
	鶴川	Ha ~~~~~~	Ok ~~~~~~					
木	世谷		No - - - - -				後 =====	
	鶴川	Ha ~~~~~~	Se ~~~~~~				後 =====	
金	世谷		Uc - - - - -				後 =====	
	鶴川	Ha ~~~~~~	Na =====				後 =====	
土	世谷	Uc ~~~~~~						

**注意：研究室図書の見学および貸出方法**

- ▼貸出は「図書貸出簿」に書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、必ず在室教員のチェックを受け、サインをもらってください。
- ▼返却も「図書貸出簿」に返却日を記入し、必ず在室教員のチェックを受け、サインをもらってください。
- ▼貸し出し期限は2週間です。厳守して下さい。
- ▼研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、情報処理室内でのみ閲覧・利用して下さい。
- ▼利用する人は（教員も含めて）、見たり借りたりした本を必ずもとの位置に戻しておくようにして下さい。  
本の位置を変えないようにすることは、絶対に守らなくてはならないマナーです。
- ▼以上のきまりを守らず、無断で図書などを持ち出した者、貸し出し期限を守れない者には、相応の懲罰を課します。

## 製本保存ぶん卒業論文主題(1996年度)一覧

- ・3月に行われた全国地理学科卒業論文発表大会では、天井澤暁裕さんと中島 亮さんが発表しました。
- ・1986年以降に審査された卒論のなかから、優秀なものや資料的価値の高い論文は製本され公開されています。年度別、分野別に製本された卒論は図書資料室で閲覧できます。96年度ぶんでは、以下の論文が製本・保存されます。

番号	氏名	表題
1	二階堂順子	福島県相馬郡飯館村における農産物を中心とした村づくり
2	富沢 昭文	高崎市中心部における都心機能の分布と集積過程
10	本間健太郎	八王子市中心部における機能別の立地と変化について
12	佐藤健治郎	ランドサットTMデータの小地域内における土地被覆分類精度の検討
18	杉山 敦	心象風景を考慮した景観形成計画に関する研究—静岡県清水市の小中学校校歌歌詞からの考察
20	坂路 具嗣	大都市における大規模小売店舗の立地動向 —千葉市を例に—
26	稲野辺裕人	茨城県つくば市東部における土地利用変化の分析
31	天井澤暁裕	根室半島豊里におけるアースハンモックの形成環境
33	本田 慎吾	東京西郊における鉄道駅空間とその類型化 —西武池袋線沿線を例として—
35	布施 太郎	ダム建設における山村の変貌 —神奈川県愛甲郡清川村を事例に—
37	中山伊知郎	長野県の冬期における南風の特徴について
40	中島 亮	衛星データを用いた石垣島轟川流域における赤土流出域の検出 —植生・土地被覆・表層地質などを考慮に入れた土壌環境評価—
42	小野 敦	諏訪湖の結氷記録からみた冬の気温変動
48	山縣安紀子	茨城県日立市北部における岩石海岸の地形変化
50	中村 慎	伊豆半島における観光地の地域的展開
52	堀口 智一	長野県茅野市における寒天生産から見た気象との関係について
57	深代 雅明	群馬県片品川中流域における河岸段丘形成 —段丘形成過程と古湖水面変化の関係—
59	小堀 貴亮	伝統的町並み保全の現代的意味と方法に関する—考察 —川越・旧城下町のケーススタディー—
62	萩原 勇	高崎市の幹線道路、環状線の整備による都市の変容と効果 —ロードサイドショップと市街地駐車場からの考察—
64	関口 貴則	小名浜における海霧の発生要因と海水について
67	伊藤 宏峰	大規模小売店舗の動向からみた伊那市の商業構造

### 地理情報処理室および図書資料室の利用について(重要:必ず読むこと)

1. 地理情報処理室および図書資料室は、原則として教員が在校中のみ開け、それ以外の時間は施錠されます。つまり、教員が大学に来ていないときには、中へ入れません。教員の在校時間については、このニュースレターの教員在室表に示したとおりで、世田谷に最低一人の教員が来ている時間帯は、これらの部屋に入れることとなります(ただし、2階に研究室のない教員(長島・内田・岡島)しかいない場合は、つねに鍵が開いているとは限りませんから、その場合は教員に告げて鍵を開けてもらう必要があります)。これ以外の時間帯でも、教員が学内にいれば鍵を開けてもらえます。教員を捜して下さい。
2. 従来は、教員が帰宅した後も学生が鍵を持って居残る場合がありますが、今後は教員が帰宅すると同時に情報処理室を閉めます。教員に促されたら、学生は荷物を持って外へ出て下さい。学生が事務室から鍵を借出すことは、原則として禁止します。
3. 教員が講義等で一時的に研究室を留守にする場合は、原則として情報処理室を閉めます。この時間帯に情報処理室及び図書資料室を利用したい学生は、その旨を教員に伝えて下さい。
4. 情報処理室および図書室が個室になることによって、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすくなります。盗難のおそれがあるので、図書室内または情報処理室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。